

## 「宇都宮市配偶者からの暴力対策基本計画」の目標値の設定（案）について

## 1 目標値の考え方

- (1) 計画を着実に進行していくため、計画の進捗度合いを計る 5 年後の総体的な目標値（成果指標）を設定する。なお、本計画は「第 2 次男女共同参画行動計画」の分野別計画であることから、同行動計画の基本目標Ⅲ「男女が互いを尊重し大切に作る社会づくり」の目標値「過去 2 年間に配偶者から暴力を受けたことのある女性の割合」を本計画の目標値とする。
- (2) 成果指標の達成に向けて、着実に事業を実施するため、重点事業に 5 年後の目標値（活動指標）を設定する。

## 2 成果指標の目標値

平成 18 年度に実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」によると、過去 2 年間に配偶者からの暴力を受けたことのある女性の割合は、12.7%で、本市の女性の 10 人に 1 人以上が配偶者などからの暴力を受けている結果になっている。

このようなことから、男女の人権が尊重される社会の実現に向けて、本計画に掲げる 4 つの基本目標に基づき、体系的に各種施策事業に積極的に取り組み、配偶者などから暴力を受けたことのある女性の割合を限りなく 0%に近づけることを目標とする。

成果指標	平成 18 年度	平成 25 年度
過去 2 年間に配偶者から暴力を受けたことのある女性の割合※	12.7%	0%に近づける

※成果指標は、平成 21・25 年度は「市政世論調査」にて、平成 23 年度は「男女共同参画に関する市民意識調査」にて調査予定。

## 3 活動指標一覧

- ・別紙のとおり

## 3 活動指標一覧(案)

基本目標	施策の方向	取り組むべき施策	事業番号	事業名 (重点事業)	指標名	現状値	目標値 (25年度)
Ⅰ DVを許さない意識づくり	1 DVの未然防止対策を推進する。	(1)DV防止に向けた啓発の充実	2	若者へのデートDV防止啓発事業の実施	デートDV出前講座の受講者の数	100人 (見込)	1,000人(延)
			3	DV根絶強化月間の実施	DV根絶強化月間における啓発事業の数	年3事業	年6事業
		(2)人権教育や男女共同参画の意識づくりの充実	5	男女共同参画啓発事業の実施	男女共同参画啓発講座・講演会の受講者数	1,080人 (見込)	1,700人
Ⅱ 安心して相談できる体制づくり	2 相談体制の充実を図る。	(3)相談窓口の周知の強化	8	相談窓口の広報活動の充実	DV ステッカーの貼付枚数	370枚(延) (見込)	1,000枚(延)
		(4)配偶者暴力相談支援センターの相談機能の充実	10	相談体制の充実	市女性相談所におけるDVの相談件数	470件 (見込)	830件
Ⅲ 実効性のある自立支援体制づくり	4 被害者の自立支援の体制をつくる。	(8)被害者の自立に向けた各種生活支援	18	被害者の居場所の整備	居場所利用者の人数	—	年500人(延)
			23	共通相談シートを活用した同行支援	共通相談シートにより同行支援した被害者の人数	—	年48人
		(9)被害者の子どもの心のケアや発育・就学等に関する支援	24	子どもの心の回復に向けた交流事業の実施	保育士・支援者等との交流事業に参加したDV被害者の子どもの数	—	年120人(延)
Ⅳ DV対策の推進体制づくり	5 関係機関等と連携・協働により, DV対策を推進する。	(10)関係部署・関係機関等との連携強化	29	関係職員の窓口対応向上	2次被害防止に向けた市職員への研修や啓発の実施回数	—	年3回
			31	関係機関等との情報共有・連携強化	「DV対策関係機関ネットワーク会議」の構成団体と連携して対応した相談事案の件数	年240件 (見込)	年380件
		(11)民間団体等との連携と協働	32	民間シェルターとの連携	民間団体と協働で実施した事業数	年4事業	年8事業